

# 令和4年党運動方針

—信頼と共感の政治を、皆さんとともに—  
来る参議院議員選挙の圧倒的勝利を目指そう！

## 項 目

- 1 不安定な世界情勢や厳しい生活必需品価格の上昇から県民の安心と生活を守り抜く
- 2 県民の命と健康、暮らしを守りぬく新型コロナウイルス対策
- 3 デジタル田園都市国家で経済の成長を実現し雇用を確保する
- 4 人口減少社会の克服に向け、地方創生の取り組みを進める
- 5 医療・福祉・社会保障を充実させて安心して暮らせる青森県をつくる
- 6 持続可能な農林水産業の発展と、魅力あふれる農山漁村をつくる
- 7 青森県の未来を担う人づくりを推進する
- 8 地方創生の基盤となる交通ネットワークを整備する
- 9 防災・減災対策に取り組み、強い青森県をつくる
- 10 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の推進と安全・安心な「エネルギー先進県」としての取り組みを強化する

## 1 不安定な世界情勢や厳しい生活必需品価格の上昇から県民の安心と生活を守り抜く

わが党は国民政党として、常に国民・県民が安全・安心に生活できる環境を整えるため励んでおります。

しかしながら、ロシアによるウクライナへの侵略により、世界情勢は厳しさを増しています。それに伴い、青森県において生活必需品である燃油価格の高騰に加え、小麦をはじめとする輸入物価の上昇が続いていたところ、さらなる価格上昇が始まっており、県民の日常生活や県内企業の経済活動に対して大きな影響を及ぼしているため、影響緩和策等の対策を講じていきます。

今後、国民・県民の命や財産を脅かす懸念を払しょくするため、安全保障に努め、県民の皆様が安心して生活できるよう環境を整えていきます。

- 食料価格高騰対策を図ります
- 生活必需品である、燃油高騰対策を強化していきます
- 企業が原材料等の価格上昇に応じた賃上げ及び、円滑な価格転嫁を行えるよう対策を講じていきます
- 円滑な流通・供給を確保するため、サプライチェーンの強靱化を図ります
- 県民の命と生活を守るため、国と連携して安全保障対策を強化します
- 原油価格高騰に伴うエネルギー価格の上昇に対して、必要に応じて対策を講じていきます

## 2 県民の命と健康、暮らしを守りぬく新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の陽性者が初めて国内で確認されてから3年目となりますが、感染スピードが速く、変異ウイルスの出現により若年層への感染の増加、数々のクラスターが発生するなど未だ収束が見通せておりません。

新型コロナでお困りの方の生活を支え、中小企業、事業者の継続と雇用を守り抜くため、経済的にお困りの世帯、厳しい経済状況にある学生、子育て世帯、事業者に対する給付金や融資による支援を着実に行っていきます。

第三回ワクチン接種が順次始まっていますが、引き続き検疫や医療提供体制の強化、速やかな経口薬の確保など、感染拡大の防止に全力で取り組みます。

○PCR等の検査体制の充実や迅速な診療を確立、入院病床の確保や検査・医療機器の整備を継続しながら、科学的見地を踏まえ、予防・検査・早期治療の流れを強化します

○院内感染の防止や遠隔医療の推進を図るため、オンライン診療の導入を促進します

○企業活動への影響を抑制するため、雇用調整助成金の支援を継続します

○中小企業・小規模事業者の資金繰り対策を強化していきます

○地方公共団体との連携強化を図り、財政負担の軽減を図ります

○生活福祉資金特例貸付の期間延長に努めるとともに、生活困窮者等の住居費、教育費に係る支援を行います

○学校、福祉施設等でのクラスター発生が増加していることから、適切な感染対策を実施いたします

○新型コロナウイルス治療薬の研究・開発・流通体制を築くとともに、迅速な経口薬の確保を行います。

### 3 デジタル田園都市国家で経済の成長を実現し雇用を確保する

新型コロナウイルス感染症の影響で、物流が滞り経済が円滑に回らない状況となっているなか、デジタルを活用した地方創生、「デジタル田園都市国家構想」を推進し、高齢化や過疎化などに直面する地方の課題解決とともに、新しい資本主義の主演である地方の成長を実現していきます。

成長と分配の両面から経済を動かし、好循環を生み出すことで、持続可能な経済をつくり上げ、県民一人ひとりが豊かで、生き生きと暮らせる青森県を実現いたします。

本県の個性を生かした地方活性化や、観光業支援、地方創生推進交付金等により、財政面・情報面・人材面から引き続き協力を支援していく。

- 自治体と住民の間で円滑にデータ流通が可能な環境を整備し、各種行政手続きの円滑化や新たなサービス、技術革新の恩恵が受けられる社会づくりを進めます
- 新型コロナウイルス感染症の影響から経済と雇用を守り抜き、終息後には本格的な需要喚起策を行うなど万全の対策を実施します
- Society5.0（超スマート社会）時代に向け、AI、IoT、量子科学、5G等を幅広く活用し、持続可能な地域づくりを推進します
- 地域特性を生かした企業誘致や創業・起業支援を通じ雇用の拡大を図ります
- 中小企業等の新しい事業展開に向けて、新たなサービス展開による販路拡大や新商品の開発等を支援します
- 同一賃金同一労働の実現など、非正規雇用の処遇改善を行います
- 若者や保護者に本県の魅力を積極的に発信し、高校生等の県内定着、受け入れ態勢を図るとともに、移住やUIJターンを促進します
- 就職氷河期世代等の就労支援、正規雇用化を令和5年まで集中的に取り組みます
- 女性のための就業支援窓口の環境整備に取り組むとともに、女性が幅広い分野で活躍できるよう図ります。

- コロナ禍における女性の雇用の悪化、自殺者の増加、シングルマザー・非正規雇用者の生活困窮などの現状を踏まえ、女性の経済的自立を強力に支援します
- パワハラ、セクハラ等を根絶し誰もが働きやすい職場づくりを進めます
- 県内企業・団体等における SDG s への参画を促し、持続可能な地域社会の実現に向けた環境づくりを進めます

#### 4 人口減少社会の克服に向け、地方創生の取り組みを進める

新型コロナウイルス感染症を契機に地方に対する国民の意識が高まる中、本県の個性を活かした地方活性化や産業を振興し仕事を創るとともに、本県の魅力を全国に発信することにより移住やリモートワーク等を望むあらゆる世代の方々に加え、若者・女性に選ばれる地域にすることで、人口減少に歯止めをかけ、活気あふれる青森県をつくります。

- 市町村と連携してリモートワーク・ワーケーションなどに対応した新たな移住促進モデルを構築します
- 若者・女性や子育て世代に魅力ある環境づくりを進め「住みたい青森」を目指します
- 地域資源を活用した商品開発や付加価値向上を推進するなど、熱意ある新しいチャレンジを支援します
- 中小企業・小規模事業者の生産性向上に向け DX（デジタルトランスフォーメーション）推進を支援します
- 企業の新分野進出や業務転換への支援をいたします
- 地方交付税や国の地方創生に係る交付金の増額に努め、安定的な財政基盤を確保します
- 医工連携や健康・医療関連サービスの創出を図るほか、買い物支援を始めとした生活関連サービス産業の創出に取り組みます
- 県内企業による新たな海外ビジネスへのチャレンジを支援します
- 地域を支える中小企業・小規模事業者の事業承継を支援します
- 地域の魅力の再発見と地位経済への波及効果が期待されるマイクロツーリズムを推進して参ります
- 世界文化遺産登録となった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上を

行い、来訪・周遊を促進し、価値や魅力の浸透を図ります

○青い森鉄道をはじめとする住民の足となる交通機関の経営安定に努めます

○MaaS（複数の交通機関を切れ目なく組み合わせた移動サービス）等を活用した地域の交通ネットワーク構築に取り組みます



## 5 医療・福祉・社会保障を充実させて安心して暮らせる青森県をつくる

人生100年といわれる時代にあって、誰もが、健康で健やかに暮らしている全世代型社会保障体制の構築が急務です。

また、本県の平均寿命は、男女とも全国最下位であるため、「健康長寿県」を目指し、医療体制の充実や健康づくりに対する県民の意識向上を図るとともに、いつでも質の高い医療や福祉が受けられるようエッセンシャルワーカーの育成と定着に向けた取り組みを強化していきます。

- 医師の地域偏在、診療科偏在に対応した医師確保対策を推進します
- 「青森県がん対策推進条例」に基づき、がんの早期発見・早期治療に向け、がん検診の受診率向上、検診体制の強化に努めます
- 県民の健康意識の醸成や生活習慣の改善に取り組みます
- へき地等におけるICTを活用したオンライン診療の体制整備を進めます
- 地域生活の諸課題に幅広く対応するための地域共生社会の仕組みづくりに向けた「青森県型地域共生社会」の構築に取り組みます
- 現役世代の安心を確保するため「介護離職ゼロ」の社会を目指し、介護従事者のさらなる処遇改善や人材確保に取り組みます
- 実態の把握が難しいヤングケアラーについて、早期発見と適切な支援体制を構築します
- 女性特有の健康問題に関する相談・啓発体制の構築に努めます
- 医療的ケア児や家族の相談・支援体制を構築し、保育所等での受け入れ体制づくりを進めます
- 認知症の方と家族を支える仕組みづくりに取り組みます
- 障害者の意思疎通手段の利用の促進と「言語としての手話」の認識の普及に取り組みます
- 社会不安に寄り添い、深刻化する社会的な孤独・孤立の問題に取り組み、支援するための整備を促進します

## 6 持続可能な農林水産業の発展と、魅力あふれる農山漁村をつくる

わが県の農業産出額は、17年連続で東北トップを誇り、日本の食を支える食料供給県としての地位を確立しています。

本県の基幹産業である農林水産業を、若者にとって夢のある産業に成長させ次世代に引き継ぐため、安心して質の高い県産品づくりを進めることや、ECサイトの活用や市場分析を行い、国際状況の変化に合わせた施策を展開していきます。

また、農山漁村における地域経営や観光を活用した地域づくりに努め、魅力あふれる地域づくりの推進と更なるブランド力強化を行って参ります。

- 水田活用の直接支払い交付金について、各地域の実状に応じた運用に努めます
- 家族農業経営も含め、中山間地域で頑張る多様な農業者を応援します
- 後継者不足の解消に向け、新規に就農しやすい環境を整備するとともに、法人経営や集落営農など多様な担い手が共存できる体制づくりを進めます
- 先端技術の導入やスマート化・デジタル化を行うことにより、省力化や効率化を図り、スマート農業を加速化します
- あおもり米品種「青天の霹靂」、おうとう「ジュノハート」、「あおもり和牛」「青い森紅サーモン」等の認知度向上とブランドの定着化に取り組みます
- 新品種米「はれわたり」の令和5年デビューを見据え、生産体制の整備を進め、販売対策を講じます
- 販売現場の実情に応じた新たなセールス手法の確立と実践に取り組むとともに、「エープレミアム」流通サービスにおいては、新たに個人消費者向けのECサイトを活用して販路拡大に努めます
- 越境EC企業と連携し県産品のPRや市場分析を実施し輸出拡大を図ります
- りんご・ほたてなど農林水産品のさらなる販売拡大に向け、国内外の販売網の拡大や輸出環境の整備に努めます

- 畜産・酪農業の経営安定化や衛生管理を強化し、経営基盤の警鐘を支援します
- CSF（豚熱）やASF（アフリカ豚熱）、鳥インフルエンザなど家畜感染症防疫体制のさらなる充実・強化を図ります
- 水産業の持続的発展を図るため、多様な消費者ニーズに対応した水産物の消費拡大、衛生管理対策、魚食普及への取り組みを強化するとともに、漁業者の経営安定に向けた取り組みを強化します
- 広域化・悪質化している外国漁船違法操業や増加している国内の違法な漁獲に対する取り締まりを強化します
- 県産材の需給安定と利用促進に向けて、森林クラウドを活用した原木需給のマッチングを進めます
- 林業就業者を継続的に育成するための施策を実施します
- 松くい虫・ナラ枯れ被害の拡大防止に向け、万全の対策を講じます
- カーボンニュートラルに貢献する森林・林業・木材産業によるグリーン成長の実現に向け、森林資源の適切な管理や森林整備・治山事業を推進します

## 7 青森県の未来を担う人づくりを推進する

青森県の未来をつくる人を育てるため、子どもたちに対してきめ細やかな学習と生活指導が重要となっております。少人数学級編成のさらなる充実と ICT を活用することにより、効率よく学べる環境をつくり子供たちがふるさとに誇りを持ち、これからの社会に希望を持って挑戦できる環境をつくるため教育の充実に努めます。

- 「こどもまんなか」の実現に向けて必要な予算・体制を備えた強力な総合調整機能を有する行政組織として「こども家庭庁（仮称）」を創設いたします。
- 学びたいという意欲を持つ全ての学生が安心して学べる環境を整備します
- 経済的支援の充実を図るとともに、貸与型奨学金の返済については地方自治体や企業による返還支援を促進し、返還困難者に対する支援を着実に推進するなど、負担軽減を図ります
- ひとり親家庭など困難な環境にある子供やその家庭の孤立を防ぐため、切れ目のない相談・支援体制を強化します
- すべての子どもが健やかに成長できるように、乳幼児教育の質の向上を図ります
- 私立学校の経常費補助などを通じ特色ある教育の振興を図ります
- 地域に根差した伝統・文化を尊重し、ふるさとに愛着と誇りを持てる人材の育成に取り組みます
- インターネットを使った犯罪から子供たちを守るための対策に取り組みます
- 第80回国民スポーツ大会を見据え、若手指導者の育成とジュニア選手の発掘・育成に取り組みます
- 全ての児童生徒が明るく健やかに学校生活を送ることができるよう、学校・保護者・地域が一丸となり「いじめ」・「自殺」の根絶に取り組みます
- 子どもたちの一人一人にきめ細やかな学習指導を行うため、33人以下による少人数学級編成を計画的に小学校全学年で実施します

## 8 地方創生の基盤となる交通ネットワークを整備する

本県は、県土の面積が広大で主要都市間の距離が長いことから、救急搬送や避難といった「命の道」、企業誘致や物流に欠かせない「経済の道」、観光や人口減少克服に欠かせない「地方創生の道」、支え合い共に生きる「地方共生の道」、4つの役割を持つ広域交通ネットワークの整備が必要不可欠です。

本県の活力向上を目指し、道路の他、鉄路、航路、空路の充実とネットワーク化を強力に促進します。

- 北海道新幹線の青函共用走行区間の高速化に努めます
- 青森空港、三沢空港の機能を充実・拡大します
- 青森港、八戸港、むつ小川原港の整備を促進し、津軽港の利用促進に努めます
- 地理的優位を活かし、北東アジアにおける物流のグローバル拠点化を目指します
- 上北自動車道、津軽自動車道、下北半島縦貫道路の早期整備を促進します
- 国道103号奥入瀬（青撫山）バイパスをはじめとする、県内国道・県道・市町村道の早期整備を促進します
- 緊急避難道路となる高瀬川架橋の新設整備を促進します
- 津軽半島内のミッシングリンクを解消するための整備を促進します

## 9 防災・減災対策に取り組み、強い青森県をつくる

東日本大震災から11年が経過しました。その後もわが国では、大規模な地震に加え、激甚な風水害が各地で次々に発生しています。

全国有数の自然豊かな本県にとって、あらゆる自然災害から、県民の命と財産を守り抜くための備えは必要不可欠です。

また、現在の気候変動により激甚化・頻発化する豪雨災害・土砂災害、今後発生が危惧されていることから、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取り組みのさらなる加速化・深化を図り、国民の命を守り、暮らしの安全・安心に取り組んでいきます。

- 気候変動の影響による異次元の大規模災害に対応するため、防災面での先進技術の導入や災害対応におけるデジタル化の推進に取り組みます
- 自然災害が発生しても機能を発揮できる社会資本整備を進め、情報通信・電力・医療等の生活インフラの整備を促進し、住民の避難対応を強化します
- 災害時に機能不全に陥ることのない強靱な地域づくりを進める観点から、ハード・ソフト面が一体となった「防災公共」の取り組みを推進します
- 台風や豪雨に備え、河川やため池・海岸の整備改修を促進します
- 豪雨災害によって被害を受けた小赤川橋等の早期修復に努めるとともに、防災対策を図ります
- 公共上下水道の老朽化対策や耐震化などライフラインの防災対策を進めます
- 自主防災組織の設立を促進し、活動の活性化を図ります

○豪雪に対する取り組みを強化します

○岩木山火山、八甲田山火山、十和田火山の噴火に対する防災対策を促進  
します

○日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルを踏まえた防災対策を促進します

○通学路や歩行者の安全確保対策を強化します

○原子力災害等における避難道路の整備を促進します

## 10 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の推進と 安全・安心な「エネルギー先進県」としての取り組みを強化する

本県は、原子燃料サイクル施設をはじめ、国際核融合エネルギー研究センターが立地し、全国第一位の設備容量を誇る風力発電を有するなど、わが国のエネルギー政策に多大な貢献をしていることに加え、豊かで美しい自然環境と持続可能な社会を将来的に引き継ぐことが極めて重要であるため、これらを活用した地域の活性化と産業振興を図る必要があります。

原子力については、安全確保を第一義に、エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源との位置付けのもとに推進します。

原子力発電の再稼働について、原子力規制委員会によって世界最高レベルの新規制基準に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し、原子力施設の再稼働を進めます。その際、国や事業者に対して施設の安全確保対策の徹底を求めるとともに、防災対策を強化します。

- 経済再生に不可欠な安定的かつ低コストのエネルギー需給構造を実現するため、省エネを推進し、再生可能エネルギーの導入を促進します
- ITER計画と並行して取り組まれる「幅広いアプローチ」のプロジェクトを推進します
- 水素エネルギー利活用普及の推進とグリーン産業の誘致を進め、2050年までにカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に取り組みます
- エネルギー関連産業への県内事業者の参入を促進します
- 量子科学センターを活用した人材育成や研究開発活動を展開し、新たな産業の創出・雇用拡大に取り組みます



# 参議院議員選挙必勝へ向けた党活動

本年は夏に最大の政治決戦となる参議院議員選挙が行われます。

わが党はコロナ後の青森の未来を切り拓くために、6年前の雪辱を晴らし必ず勝利して安定した政治体制をつくり上げなければなりません。そのためには候補者はもとより、党本部・県連・支部、党员・党友が日常の活動を深化させ、有権者の期待に応えていく必要があります。

昨年コロナ禍の中、昨年の衆議院総選挙において培った組織力をいかになく発揮するとともに、創意工夫により党活動の抜本的な見直しを行うことで、国民・県民の皆様との接点を深め、参議院選挙の勝利に繋げていきます。

また、来年には県議会議員選挙と併せて統一地方選挙を控えていることから、われわれ自民党が一枚岩となり盤石な組織を構築していかなければなりません。

## (1) 強固な党組織を構築し、一丸となって戦い抜く

わが党は、地域に根差した「組織力」を強化することで、県民の皆様の声に耳を傾け、ともに成長を続けてきた国民政党であると自負しています。

令和3年は国会議員を先頭に、県議会議員、関係市町村長、市町村議会議員、支部党员・党友連携のもと、組織拡大に全力で取り組み、目標である1万2,000人の党员を達成しました。さらなる党员獲得を続けながら組織が強固なものとなるよう連携を強めていきます。

青年局は、改革の荒波に飛び込むファーストペンギンとしての自覚を持ち、

新たな取り組みや地域の課題解決のために積極果敢に行動していくとともに、青年団体との連携強化、党デジタル化の推進等に取り組みます。

女性局は、児童虐待防止の啓発活動「ハッピーオレンジ運動」をはじめとした研修・広報活動・対話集会、女性の健康、女性目線の防災等の立った政策活動に取り組みます。

好評を博している地方政治学校事業「AOMORI 政治塾」は、コロナの状況を見極めつつ、有意な人材の発掘と党員全体の資質向上に向け取り組んでいきます。

また、議員、党員を対象とする各種研修活動、友好団体との意見交換等を実施し、党への理解と支援の輪を広げ相互理解と信頼関係の構築を目指してまいります。

## **（２）選挙の勝利に向けた広報活動を強力に展開**

本年行われる参議院選挙に向けて必勝態勢を構築するとともに、県民とのコミュニケーションをこれまで以上に重視し、信頼と共感をさらに高めていくよう努めます。

新型コロナウイルスに対する国及びわが党の対策を、各種広報物を受けて目線で効果的に作成を行い、県民の皆様に安心と希望を届けるための広報活動を展開します。

また、機関誌「自由民主」、女性誌「りぶる」は、党政策や候補者の主張などを正確に伝えることができる重要な媒体であると位置づけ、引き続き購読者の獲得運動を展開して参ります。